

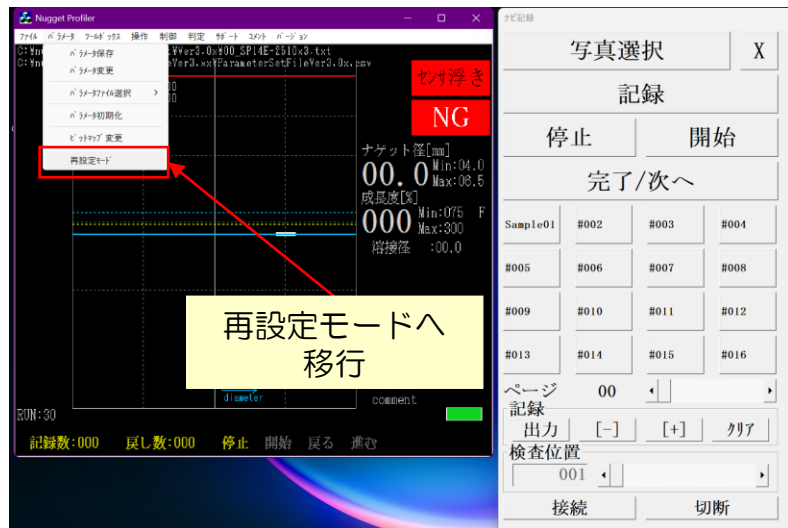
# ナゲットプロファイラー 操作手順書

再設定モードの使用方法  
(Ver.3.00+E型センサー)

作成日：2019年 6月 3日

更新日：2025年11月20日

# 再設定モードとは



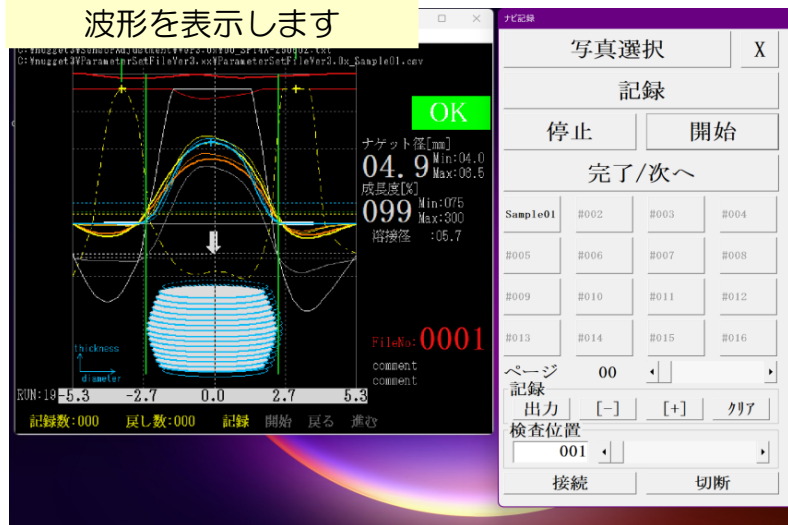
一度作成したパラメータファイルを変更/修正 する場合は **再設定モード** を使用します。

再設定モードに入ると、既存の パラメータファイル と そのパラメータ作成時に記録された波形データを読み込み 画面に表示します。

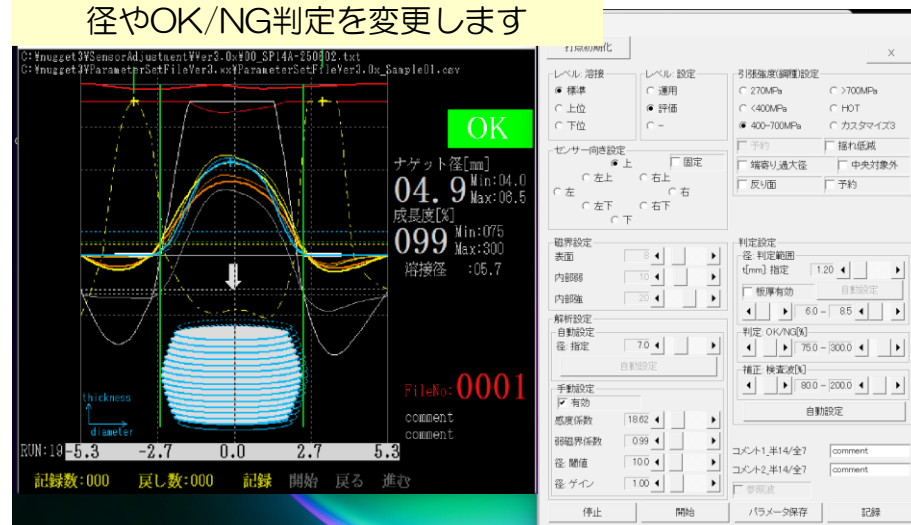
パラメータを再設定する主なケースは以下のとおりです。

- OK/NG の判定基準を 変更・追加 したい場合
- パラメータ作成時に登録した ナゲット径と破壊径が 大きく異なっていた 場合

検査結果を読み込み  
波形を表示します



パラメータの変更・修正を行い、  
径やOK/NG判定を変更します



## ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する

使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step4.Step2、3を繰り返す

Step5.写真に検査結果を再登録する

使用ソフト：Bmplimage

## ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する

使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

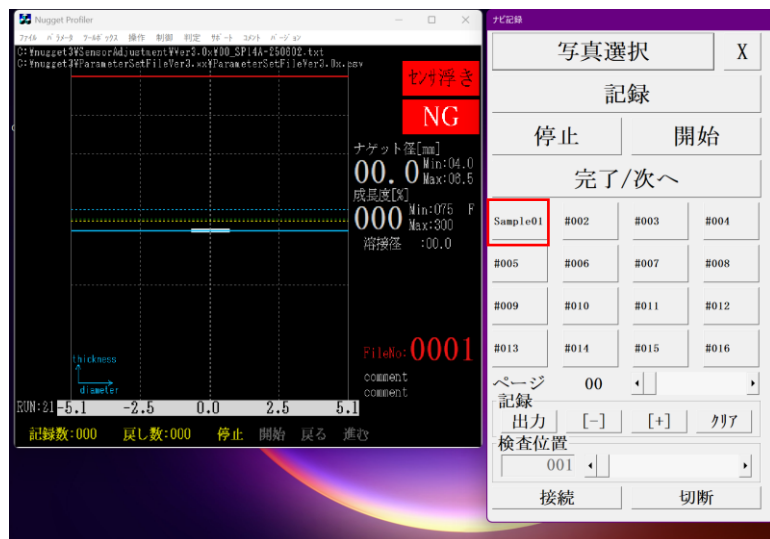
Step4.Step2、3を繰り返す

Step5.写真に検査結果を再登録する

使用ソフト：Bmplimage

# Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する

## Step1-1.再設定モードへ移行する



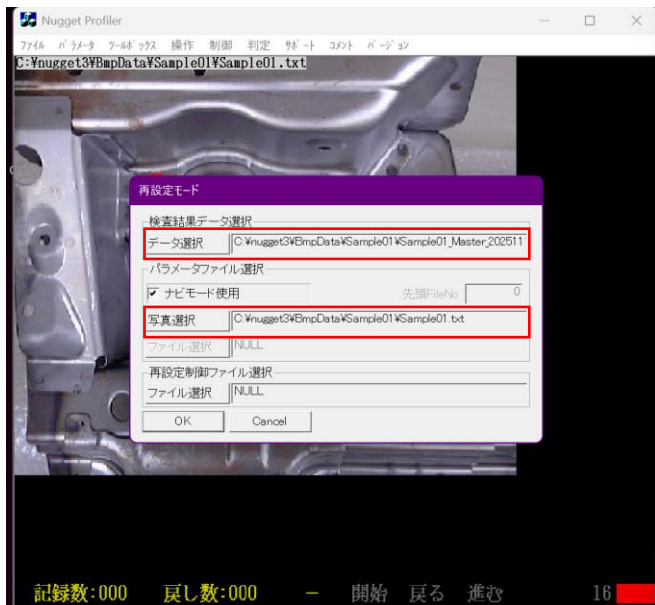
1.Nuggetを起動し、「ナビ記録」ダイアログからパラメータを変更したいパーツを登録したボタンを選択します。



2.ナビモードの写真が表示されます。

3.画面左上「パラメータ」→「再設定モード」をクリックします。

## Step1-1.再設定モードへ移行する（つづき）



4.「再設定モード」ダイアログが起動します。  
画面には以下の情報が自動入力されています。

- データ選択：パラメータ作成時の波形データ
- 写真選択：使用した写真ファイルへのリンク

5.「データ選択」欄がNULLの場合は、  
「データ選択」ボタンをクリックしてください。

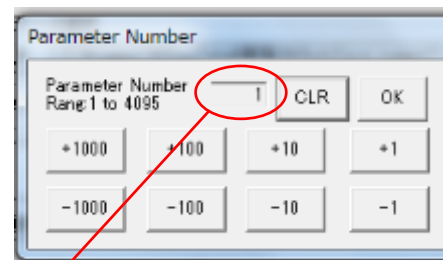
するとC:\nugget3¥Dataフォルダが開きますので、  
その中から、パラメータ作成時のデータ またはナビ  
モードを用いて検査した際のデータを選択してください。

ナビモードを用いずに再設定する場合

5.1.「ナビモード使用」の☑を  
外します。

5.2.「ファイル選択」をクリックし、  
変更するパラメータファイルを  
選択します。

5.3.「Parameter Number」  
ダイアログに変更する  
パラメータ列を入力します。



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	Parameter\	251								
2	パラメータ番号コメント1(全角)	コメント2(全角)	ホールド機AS	設定	径AS	判定	径AS	判定	径AS	設定
3	0	default	default	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75
4	1	試験片A	打点1	0	4.2	6.5	3.5	0	150	75
5	2	試験片A	打点2	0	4.2	6.5	3.5	0	150	75
6	3	試験片A	打点3	0	4.2	6.5	3.5	0	150	75
7	4	comment	comment	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75
8	5	comment	comment	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75
9	6	comment	comment	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75
10	7	comment	comment	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75
11	8	comment	comment	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75

## Step1-1.再設定モードへ移行する（つづき）

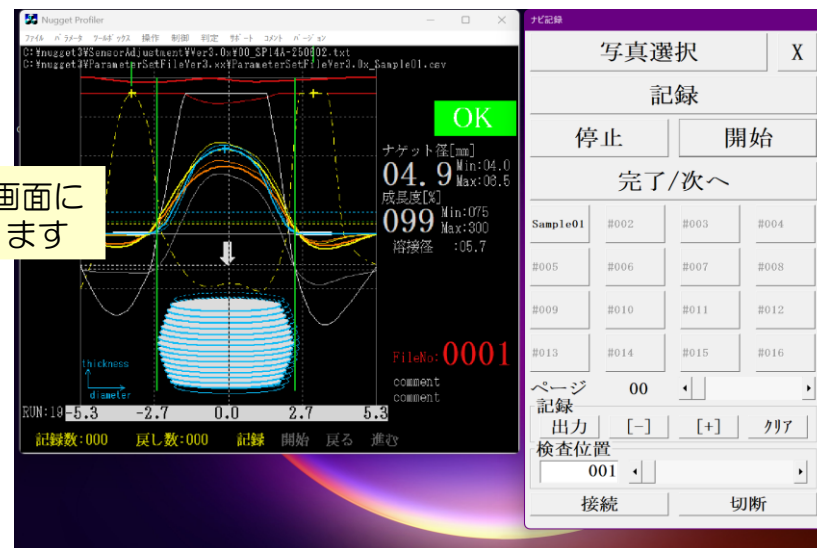


6. 「OK」をクリックすると、4で選択したパラメータファイル・過去の検査データが読み込まれます。

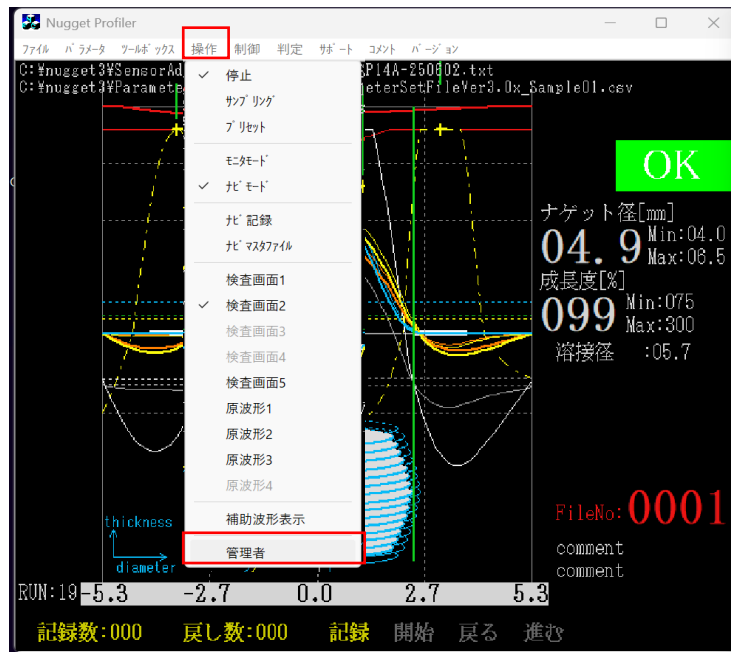
7. 「ナビ記録」ダイアログ内の「画面移行」をクリックすると過去の検査データ波形が表示されます。



検査波形の画面に切り替わります

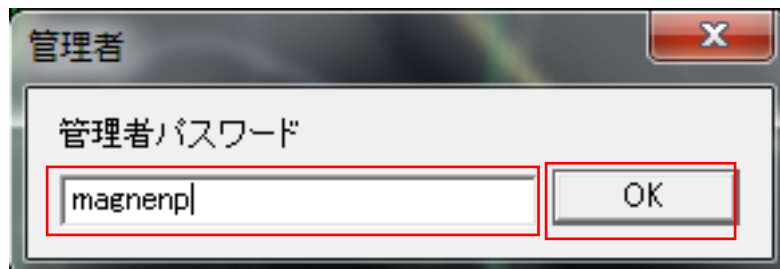


## Step1-2.管理者モードへ移行する



1.画面上「操作」→「管理者」をクリックします。

2.「管理者」ダイアログが立ち上がります。



3.パスワード：「magnenp」を入力し、「OK」をクリックします。

4.「パスワードが一致しました。  
管理者モードに移行します。」  
のメッセージが出るので「OK」をクリックします。



## ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する  
使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step4.Step2、3を繰り返す

Step5.写真に検査結果を再登録する  
使用ソフト：Bmplimage

## Step2.パラメータファイルを変更する

### Step2-1.判定基準を変更する

1.画面左上「判定」をクリックします。



2.「判定」ダイアログが立ち上がります。

ボックスに☑が入っている判定が有効になります。  
OK判定の上限と下限を入力してください。

下記5項目でOK/NG判別を行うことができます。

1. 「ナゲット径（青波:ナゲット）」
2. 「ナゲット径規格外（青波:ナゲット）」
3. 「N面積（青波:ナゲット）」
4. 「溶接径（黄波:強磁界）」
5. 「N中チリ（青波:ナゲット）」

「補正」の項目を用いることで検査波形に補正をかけ、  
OK/NGをはっきり判別できるようにします。

## Step2-1.判定基準を変更する（つづき）

- ナゲット径（青波:ナゲット）  
ナゲット径（青色波形の径）を用いてOK/NG判定を行います。
- ナゲット径規格外（青波:ナゲット）  
ナゲット径のWarningOKの範囲を指定します。画面には黄色でOK表示されます。
- N面積（青波:ナゲット）  
青色波形の面積（溶接の溶け込み具合）を用いてOK/NG判定を行います。
- 溶接径（黄波:強磁界）  
溶接径（黄色波形の径）を用いてOK/NG判定を行います。
- N中チリ（青波:ナゲット）  
中チリ（溶融金属が外に飛び出す）の判定を行います。波形の歪さから推測します。

判定

ナゲット径(青波:ナゲット)  
☒ 6 8.5

ナゲット径規格外(青波:ナゲット)  
☐ 5.5 9

成長度(青波:ナゲット)  
☒ 75 300

S:溶接径(黄波:強磁界)  
☐ 6 9.1

S:成長度(黄波:強磁界)  
☐ 1 999

N:中チリ(青波:ナゲット)  
☒ 75 100

補正

S:波高(黄波:強磁界)  
☐ 257 999

S:面積(黄波:強磁界)  
☐ 146 999

G:形状  
☐ 0 700

G:母材  
☐ 350 650

G:特性値1  
☐ 350 650

G:特性値2  
☐ 350 650

OK キャンセル

- 補正  
S:波高（黄波:強磁界）  
黄色波形の波の高さを用いて補正をかけます。

- S:面積（黄波:強磁界）  
黄色波形の面積を用いて補正をかけます。

以下（Gの項目）は特性値と呼ばれる項目を用いて補正を行います。NPは磁気抵抗の他に様々な磁気情報(特性値)を算出しています。その特性値の中で有用な項目を用いて補正をかけます。

- G:小径  
NG品（径が小さいもの）に有用な可能性がある項目です。

- G:母材  
母材に有用な可能性がある項目です。

- G:特性値1、特性値2  
メーカー側で解析・指定した項目です。

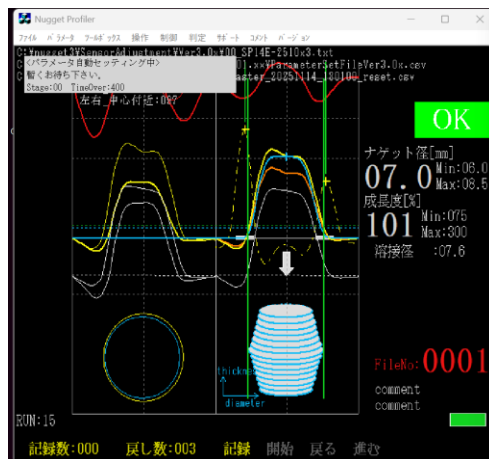
## Step2-2.検査径を変更する



- 1.画面左上「ツールボックス」の「詳細」をクリックします。
- 2.ツールボックス内「手動設定」の「有効」に☑を付けます。
- 3.「径:ゲイン」変更し、検査径を調整します。  
他項目は基本的に変更しません。
4. ツールボックス内「手動設定」の「有効」の☑を外します。

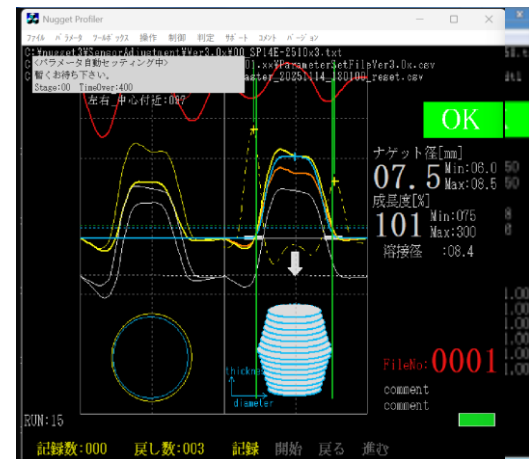
例

径ゲイン : 1.00  
検査径 : 7.0mm



径ゲイン  
調整後

径ゲイン : 1.07  
検査径 : 7.5mm



## ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する

使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step4.Step2、3を繰り返す

Step5.写真に検査結果を再登録する

使用ソフト：Bmplimage

## Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

### Step3-1.パラメータファイルを保存する

手動設定  
☒ 有効  
感度係数 18.62  
弱磁界係数 0.99  
径: 閾値 10.0  
径: ゲイン 1.07  
自動設定  
コメント1\_半14/全7 comment  
コメント2\_半14/全7 comment  
☐ 参照波  
停止 開始 **パラメータ保存** 記録

1.ツールボックス右下「パラメータ保存」をクリックし、パラメータファイルを上書き保存します。

### Step3-2.検査データを保存する

手動設定  
☒ 有効  
感度係数 18.62  
弱磁界係数 0.99  
径: 閾値 10.0  
径: ゲイン 1.07  
自動設定  
コメント1\_半14/全7 comment  
コメント2\_半14/全7 comment  
☐ 参照波  
停止 開始 パラメータ保存 **記録**

2.ツールボックス右下「記録」をクリックし、検査データを保存します。

## ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する

使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step4.Step2、3を繰り返す

Step5.写真に検査結果を再登録する

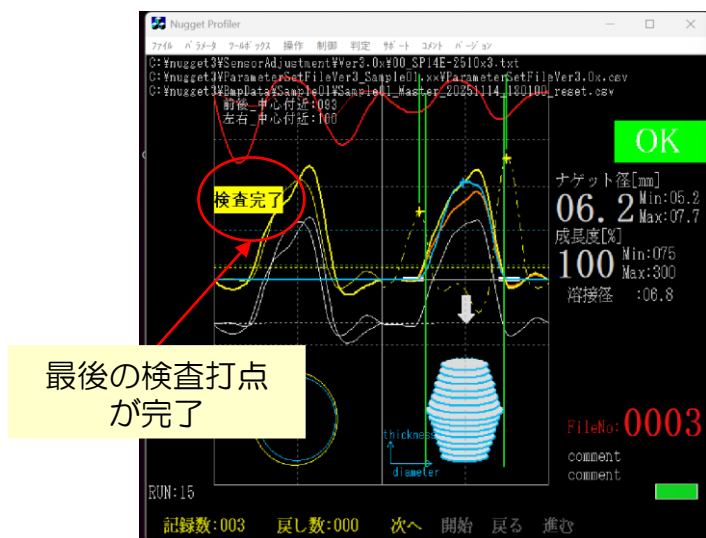
使用ソフト：Bmplimage

## Step4.Step2、3を繰り返す



1.画面が次の検査打点写真に移行します。

2.「ナビ記録」ダイアログ内の「画面移行」をクリックし、波形画面に移行します。

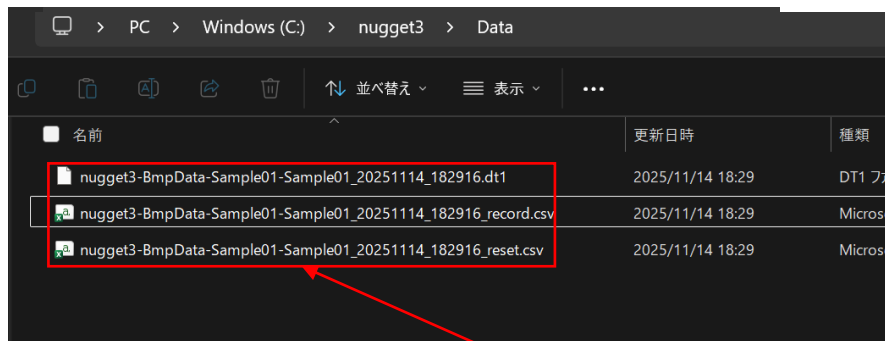
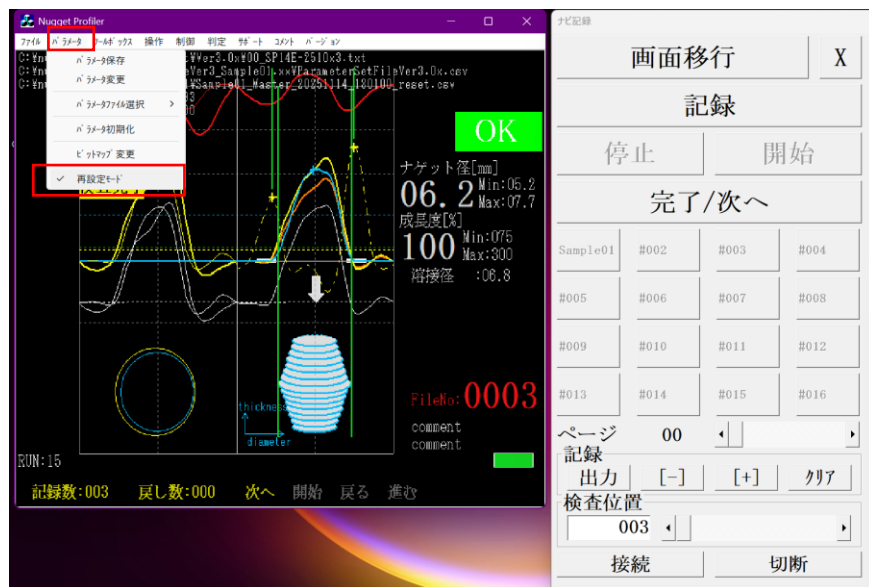


3.最終打点までStep2、3を繰り返します。

4.最終打点の検査データの保存を行うと画面に「検査完了」が表示されます。



## Step4.Step2、3を繰り返す（つづき）



「.dt1」「record.csv」「reset.csv」  
の3種類が保存されます

## ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する

使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

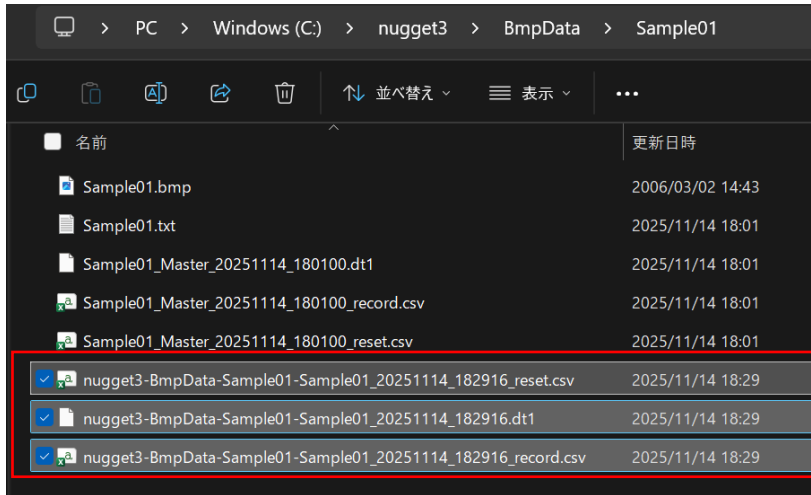
Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step4.Step2、3を繰り返す

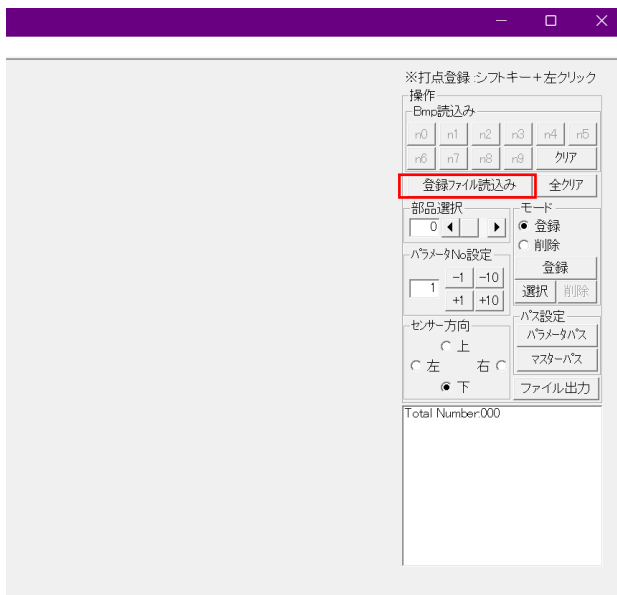
Step5.写真に検査結果を再登録する

使用ソフト：Bmplimage

## Step5.写真に検査結果を再登録する



1.Step4-6で保存した検査データを  
C:\nugget3\BmpDataフォルダ内の  
写真の名称のフォルダ内に移動させます。



2.デスクトップにある  
「BmpImage.exe-ショートカット」  
をクリックし、 打点登録ソフトを起動します。

3.「ファイル読み込み」→「打点」を  
クリックします。

## Step5.写真に検査結果を再登録する（つづき）

4.写真の名称フォルダ内のtxt.データを選択します。

5.検査打点の写真が表示されます。  
「パス設定」→「マスターパス」をクリックします。

6.Step5-1で移動したreset.csvデータを選択します。

（.dt1データ、reset.csvデータのどちらを選択しても問題ありませんが、reset.csvデータの方が時間平均回数が少なく、より精度の高いデータになります。）

7.新しいマスターパスが登録されます。  
「ファイル出力」をクリックし、保存します。

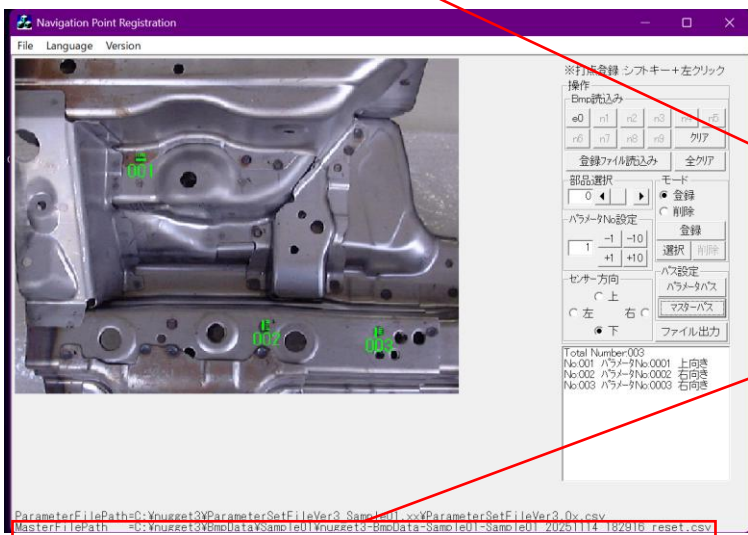
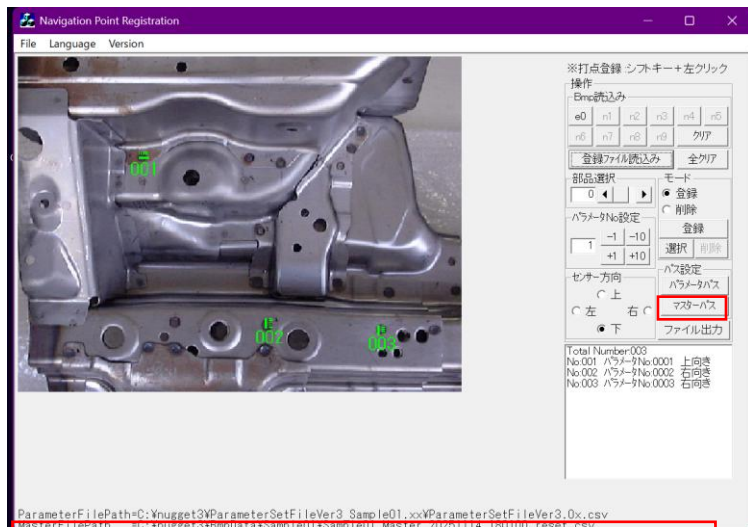
ParameterFilePath=C:\nugget3\ParameterSetFileVer3\_Sample01.xx\ParameterSetFileVer3\_0x.csv  
MasterFilePath=C:\nugget3\BmpData\Sample01\Sample01\_Master\_20251114\_180100\_reset.csv



マスターパスが変更されます

ParameterFilePath=C:\nugget3\ParameterSetFileVer3\_Sample01.xx\ParameterSetFileVer3\_0x.csv  
MasterFilePath=C:\nugget3\BmpData\Sample01\nugget3-BmpData-Sample01-Sample01\_20251114\_182916\_reset.csv

操作は以上で完了です。



EOF